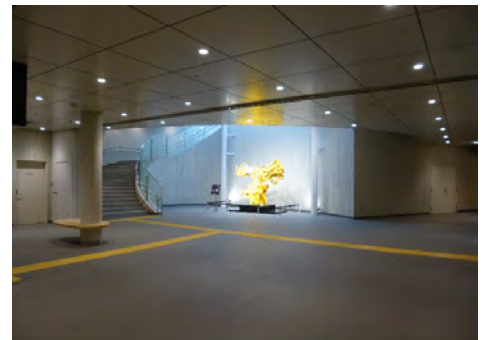
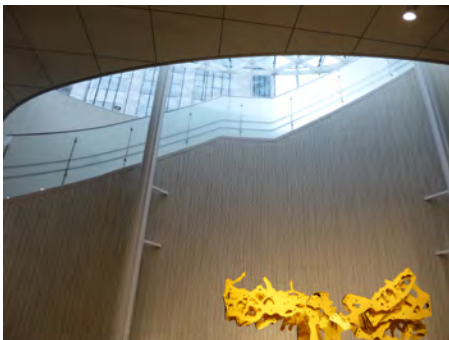
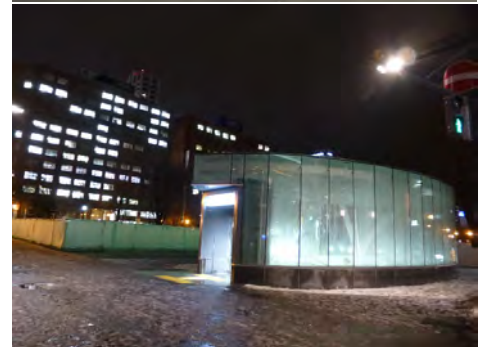


## 札幌市大通交流拠点



発注者 : 札幌市  
所在地 : 札幌市中央区大通西 4 丁目  
法的位置付け : 建築物 (計画通知)、道路占用 (国道)  
地下構造 : 鉄筋コンクリート造、一部 SRC  
上屋構造 : 鋼構造  
基礎 : 直接基礎  
床面積 : 831.2m<sup>2</sup>

基本設計 : 日建設計シビル、北海道日建設計  
実施設計 : (土木) 日建設計シビル  
(建築) ワーク・スペース工房  
(設備) 北日本技術コンサル  
施工者 : 伊藤組土建  
竣工 : 2015年1月

大通交流拠点は、先行して整備された「札幌駅前地下歩行空間」の終端部にあたる既設の地下鉄大通駅コンコース階の改修と合わせて整備したものである。大通公園下に地下広場空間を新設し、駅部も含めて全体として、「サッポロ広場」の形成をはかるものである。整備目的・内容等は、「大通交流拠点まちづくりガイドライン」に基づいており、新設の地下部は、コンコース階と一体的な地下広場として整備し、「行政サービスコーナー」を設けている。

既設の大通駅の側壁の間口に合わせて、大通公園下に約 800m<sup>2</sup>の地下 1 層の地下空間を構築し、合わせて、地下鉄の 6 番出入口の再整備を行っている。新設の地下施設は、地下鉄の躯体とは、構造的に縁を切り、既存遡及の対象にしない構造としている。

上屋の外装、屋根材は、地下への採光に配慮した強化ガラスとし、上屋を支持する柱脚は、地下から地上に向かって広がっている樹形柱を採用している。